

CLACK

ANNUAL

REPORT

2020



CLACK

活動報告書 2020

# Vision

生まれ育った環境に関係なく、子どもが将来に希望を持ち、  
ワクワクして生きていける社会

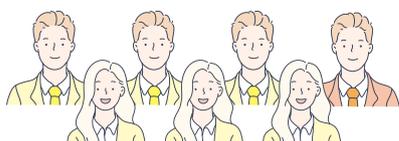
# Mission

プログラミング学習支援で、困難を抱える高校生に自走の力を

## 高校生たちの実態

### 7人に1人の子どもが、相対的貧困状態。

日本の子どものうち、7人に1人<sup>※1</sup>が相対的貧困にあるという調査報告があります。つまり1クラス<sup>※2</sup>につき約5人の子どもが貧しさに苦しんでいるのです。相対的貧困とは、その国の生活水準と比較して困窮した状態を指します。例えば日本の親子2人世帯（ひとり親世帯）だと、ひと月約14万円で生活をしているということです。



※1 データは厚生労働省「平成28年国民基礎調査/貧困率の状況」より  
※2 ひとクラスあたり35-40人程度を想定

### 貧困が連鎖・固定化する構造。

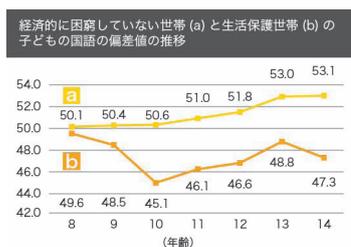
様々な統計から、貧困が連鎖・固定化する構造が浮き彫りにされています。親の年収が低いほど、大学進学率は下がります。中卒・高卒の人が就職する場合、その約半数が非正規雇用となります。非正規雇用の年収は、正規雇用の3分の1。つまり、貧困家庭で育った子どもは、大人になってからも貧困状態で生活する可能性が高く、その子どもの世代にも貧困が連鎖する傾向にあるのです。



(参照) 総務省「就業構造基本調査」、「労働力調査」、「民間給与実態統計調査」；  
生命保険文化センター「生活意識調査」；連合総研；経済産業省

### 埋まらない学力差。

貧しい状況にある子どもたちとそうでない子どもたちの学力差は10歳を境に大きくなり、年齢が上がるにつれて埋めるのが難しくなると言われています。学年が上がるほど勉強は複雑化し、よりたくさんのエネルギーと集中力を勉強に注ぐ必要が出てくるためと考えられます。



(出典) 日本財団「家庭の経済格差と子どもの認知・非認知能力格差の関係分析」(2017)より

### 歩みを止める「不信」と「不安」

周りとの差を感じながら成長してきた子どもたちは、自分のもつ能力や可能性をうまく信じてあげることができません。「どうせ自分なんて」と口にするかもしれない。そうした思いを抱えていると、周りの人が自分をどう思うのかとても不安になり、かわり合うことを避けるようになります。



# Our Approach

高校卒業後の進路は、進学・就職と分かれます。また各種の法令にも見られるように、一般的に「子ども」の定義を18歳未満とするものが多く、高校卒業後は「大人」としての自立が求められます。

そんな「自立」を目前にした期間・将来を選択する期間に、自身や周囲に対する不信や不安を抱えたままではほしくない。「諦め」でなく「希望」を持ってほしい。そんな想いで「高校生」を対象とした支援を行っています。

CLACKでは、「プログラミング教育」と「キャリア教育」を軸とした活動をしていますが、プログラミング教育を行っている理由は大きく2つあります。1つは、将来に役立つ「スキル」であること。日本ではIT人材が不足しているといわれていますが、社会のデジタル化が進み、今後ますますITスキルの重要性が高まっていくと考えられます。もう1つは、考える力・困難を乗り越える力を養うことができること。プログラミングはトライ＆エラーの繰り返しで、躓くたびに自分で調べ、試行錯誤しながら1つずつ乗り越えていくといった経験を積むことができます。

CLACKで関わる高校生の中には、学校外でパソコンに触ったことのない子どもも少なくありません。そんな子どもでも、まずは興味をもってもらい、自分でWEBサイト・WEBアプリを作れるようになって、最後自走できるようになるまでを、CLACKでは「出会う」「学ぶ」「実践する」の3つのステップで支援しています。

CLACKの伴走

自走へ



# Tech Runway

Tech Runway は、「プログラミング教育」と「キャリア教育」の2つを軸に、高校生が未来に踏み出すのを支援する半年間のプログラムです。2018年の団体立ち上げ以来のメイン事業ですが、このたび「Tech Runway」と改称しました。ITの力で高校生一人ひとりがワクワクした未来に飛び立つための「滑走路」としていきたい、という想いが込められています。

自力でWebサイト/サービスを手掛けられるようになるまでを講師が寄り添ってサポートし、ITスキルに留まらない、自分で調べ考え抜く力を育みます。

## 1 プログラミング教室



週2回プログラミングを学習します。授業料は無料で、PC・交通費も支給されます。

プログラミングでは、「自分のしたい動きになってくれない」ということが頻繁に起こります。そんな壁を自分で、時には講師と一緒に調べながら乗り越え、小さな「できた」を積み重ねていきます。2020年度は新型コロナウイルスの影響で、これまで対面で行っていた支援がオンラインとの併用となりましたが、試行錯誤を重ね、オンラインでも円滑に学習できる体制を整えることができました。

### 体験会



### ブートキャンプ



## 2 キャリア教育



様々な領域で活躍する大学生や社会人を招いた座談会や、生活やお金についてのリテラシーの向上を目的としたワークショップを開催しています。

Tech Runwayに通う高校生の中には、家計や進学のためにアルバイトをする子も多いです。不登校や中退が当たり前の環境にいる子もいます。ロールモデルとなるような大人と出会う機会や、高校卒業後を大人と具体的に考える機会を提供することで、より広い視野で将来を見つめ直すきっかけを作ります。

### 事例①



『お金の知識』は生活に必要不可欠であるにも関わらず、学校などで学ぶ機会が少ない知識です。奨学金や海外に無料で行けるような支援の紹介、様々な社会保障制度についての講義を行い、情報を自ら手に入れることの大切を学びました。

### 事例②



社会人・大学生と高校生で座談会を行いました。社会人になる前にやりたいことや、学生時代に困難をどう乗り越えたかなどを話し合い、お互いの考え方や想いを理解するきっかけとなりました。

## 2020年度の取り組み



## これまでの実績

1 期目	2 期目	3 期目	全期通算
2018年10月 ~2019年3月	2019年5月 ~2019年12月	2020年9月 ~2021年3月	2018年 ~2021年
1期生 <b>10名</b>	2期生 <b>15名</b>	3期生 <b>15名</b>	合計 <b>40名</b>



## 生徒・講師の声



C.O さん

一番印象に残っている目標設定のキャリアワークで『実現可能な目標を設定するのではなく、不可能に思えるような目標でも簡単な目標でも一度設定してみて、その目標を達成するにはどうすればいいのかを考えることが大事!』と聞いたとき「あっ、難しくて別に諦めないでもいいんだ」と思いました。それから少し無理そうなことでも挑戦してみようと思うようになりました。



プログラミング講師  
小野征道さん

去年の11月ごろに知り合いの方からCLACKを紹介してもらったのがきっかけで活動に参加するようになりました。右も左もわからない私でしたが、プログラミング講師から始まり、体験会運営や居場所カフェ訪問など様々な経験をさせてもらい、大きく成長できたと思います。これからも様々な事にチャレンジして頑張っていきます!

## > News!! 堺拠点を新設します!

2021年度より、大阪府堺市で2拠点を開設します。これまでは1拠点のみで活動しており、受け入れられる生徒数や地域が限られていました。少人数制ならではの質を落とさず、より多くの若者に支援を届けるには、多拠点化が不可欠であると考えています。今回の拠点開設は、新大阪の拠点で培ってきたノウハウを体系化し、展開可能な形を作っていく、その第一歩としていきたいと思っています。



# Tech Runway plus

Tech Runway を修了した生徒たちに、次のステップとして3パターンの実践機会を提供します。Tech Runway よりも幅広く深い技術力、仕事をする上で必要な力を身につけてもらいます。そして、何より実際に自分が学んだことを活かし、お金をもらって仕事をする経験を通して自己効力感とやりきる経験を身につけてほしいと考えています。

## 1 クライアントワーク



実際に企業や地域のお店、団体が求めているものを、ホームページを始めとしてCLACKのエンジニアチーム監修のもと、卒業生が徐々に作り、お金をもらえるレベルまで実践形式で学んでもらいます。仕事を行う上で必要なプログラミング以外のスキルも研修とロールプレイングによって身につけてもらいます。

## 2 プログラミング講師アルバイト



プログラミング教育必修化の影響もあり、需要の高まっている小学生向けプログラミング教育。CLACKの卒業生が学童や小学生向けのプログラミング教室で、今度は講師としてプログラミングを教えます。CLACKメンバーと一緒に、卒業生が必要なカリキュラムや指導方法などを考え、小学生にとっていい機会を作っていこうとしています。

## 3 IT企業でのインターン



CLACKの理念に共感してくださった企業さんに対し、卒業生をインターンやアルバイトとして採用していただいています。企業で実際に使う技術はTech Runwayで学んだことだけでは難しいことも多いですが、なんとか食らいついていけるようにCLACKの方でも定期的に面談を実施し一緒にどう進めていくかを考えていきます。

## 放課後居場所カフェ

東淀工業高校で2020年10月より放課後に月2回程度、放課後居場所カフェを開催しています。同校には毎年、居場所がないことや家庭環境が原因で中退していく生徒がいます。そうした生徒たちに対し、放課後の空き教室でお菓子やジュース、ボードゲームなどを置いて自由に過ごして大丈夫な居場所を提供しています。また、VRやドローンなどの体験もできるようにして興味を持った生徒には、Tech Runwayの支援に繋がっています。毎回20人程度の生徒が遊びに来てくれています。

### 居場所カフェ運営校の声



東淀工業高校  
スクールソーシャルワーカー  
小倉 歩 様

代表の平井さんとは、出会ってすぐに意気投合し、協力して放課後居場所カフェを立ち上げる運びとなりました。もっと高校生と自然な形で関わりたい。彼らの悩みを聞かせて欲しい。偏った人間関係の中で育った生徒には、信頼出来る大人が身近にいる事を知らせたい。そんな想いから始めた放課後居場所カフェですが、コロナ禍でもカフェを心待ちにしてくれている生徒やスタッフの個人的な悩みを打ち明けてくれる生徒、放課後で思いっきり遊んで笑って帰って行く生徒達の姿が見られ、嬉しい限りです。CLACKの皆さんの協力なしにはできない事です。今後とも宜しくお願致します！

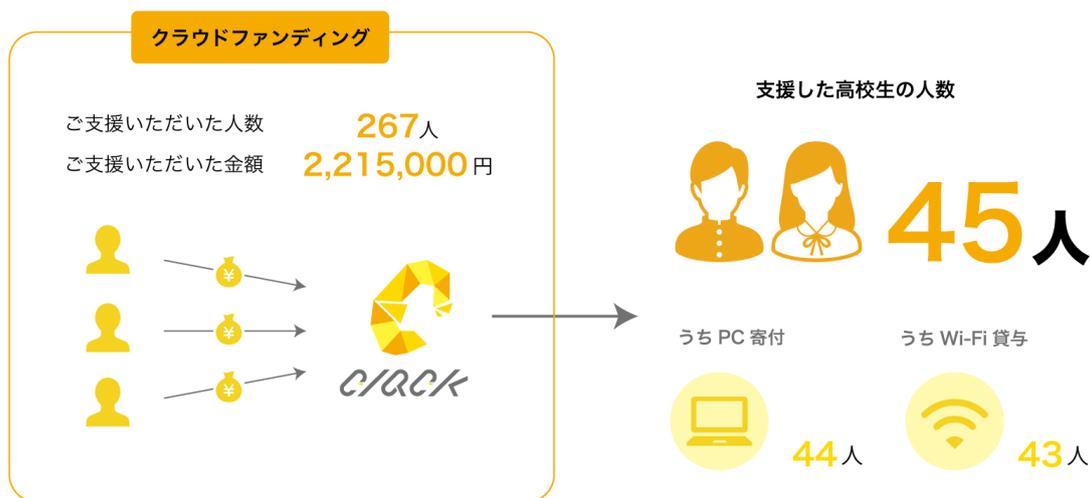


# テック GIFT

新型コロナウイルス感染症の拡大のため、2020年度は多くの高校が式典の中止や休校を余儀なくされ、高校生は先の見えない不安な状況で、新たな生活を始めなければなりません。外出出来ず、自宅にインターネット環境のない高校生は、オンラインの学習機会を活用することも、SNSを使った友人との交流も出来ず、ストレスが溜まっていくことが懸念されました。

そこで私たち CLACK は、インターネット環境のない高校生にパソコンと Wi-Fi を届けるプロジェクトを立ち上げました。物の支援だけでなく、1人ひとりを精神的にサポートすることによって「コロナという逆境の中でも、ワクワクして生きていくきっかけ」を届けたいとの願いを込めて、プロジェクト名は「テック GIFT (Give Information and Future Training)」としました。

## テック GIFT の概要



## 高校生の声



H.F.さん

自分一人だったら何もしていなかった時間に、新しい人と出会えたことが良かったです。好きなことを楽しそうに話す参加者がいて、明るく話しやすい雰囲気を作ってくれるチューターがいる。僕は、やっぱり人と話しているのが好きで、「誰」と何をするか重要なポイントである、と気づけました。僕にとってこの時間は、すごく有意義な時間でした。

## 講師の声



山崎由佳さん

私たちのグループでは、全体で議論をしたり、個々の作業を進めました。前者では社会問題や時事的なニュースを聞いて議論し、後者ではそれぞれが目標をもって自分の取り組みたいことに打ち込むことができました。中にはプログラミングを一から始めたのにもかかわらずホームページの作成をするまで上達した生徒もいて、その子の強い意志や行動力から私も刺激を受けました。

## 協力者の声



(株) ローカルフラッグ  
代表取締役  
濱田祐太さん

多様なキャリア・価値観の人に出会うことは、人生の選択肢を豊かにします。高校生の皆さんが様々な人に CLACK を通じて出会うことで、自分自身の人生を自ら選択し、切り開いていくことを楽しみにしています。今後でもできる限りのことは CLACK に協力していきたいと思っていますので、皆様もお力添えいただけます。

# Tech Runway 卒業生のいま

CLACK は 2020 年、活動開始から 2 周年を迎えました。この 2 年間に Tech Runway に参加した高校生は、プログラム修了後、それぞれの道を歩んでいます。今回は Tech Runway 第 2 期生の T.K. さんに、プログラムに参加したときのことや、現在のご自身の生活についてお話を伺いました。

お話を聞いた方 T.K. さん



経済学部 1 年生。高校 2 年生時に Tech Runway に参加。参加時はプログラミング初心者で、プログラミング言語を覚えるところからスタートし、半年間でオリジナル Web アプリ「首都当てゲーム」を作成。

※このインタビューは、2021 年 2 月 16 日に実施されました。

(質問) いまは高校 3 年生？

T.K. さん  
そうです。ちょうど受験が終わって。

(質問) Tech Runway に出会ったのはどんな経緯だった？

T.K. さん  
あっとすくーるさん\* という NPO に中学生の時からお世話になって、そこに平井さん (CLACK 代表) がいたんですね。元々動画をスマホで編集するとかそういうこともたまにしていた、それを知った平井さんに声をかけてもらいました。パソコンはネットサーフィンするくらいでほとんど興味がなかったんですけど、体験会で「うわ、これやってみたい」って思って、それで Tech Runway に入ることにしたんです。

\* 特定非営利活動法人あっとすくーる (<https://atto-school.com/>)

(質問) 入る前の自分がどんな感じだったか覚えてる？

T.K. さん  
すごく精神的に不安定だったと思います。発言もすごくネガティブだったし、自分の存在価値を見い出せてなかったというか。暗かたなって思っています。

(質問) プログラミングをはじめてやってみたときの感想は？

T.K. さん  
最初は、何かを作るためにまずコードを覚えないといけないのが大変そうだなって思いました。進めていくと、仕組みを理解しないと先に行けなくなったから、そこが難しかったです。Tech Runway の講師たちにはだいぶ助けられました。

(質問) Tech Runway に参加して自分が変わったと感じたことはある？

T.K. さん  
色々な人と触れ合う中で、精神面での成長はあったかなあ。人を思いやれるようになったり、大人になった感じがします。あと、一番大きな影響は将来やりたい職業が見つけたこと。プログラミングっていう選択肢を知って、この分野面白いからこういう系の職業、例えばシステムエンジニアとか、なりたいて思えました。理系じゃなくてもプログラマーになれるって知ることができて、経営学部に行ってエンジニア系の職業に就くっていう方向性を考えられたのは本当に良かったです。文系に行ったら営業くらいしか仕事ないと思ってましたから…。進路相談を数ヶ月に一回くらい Tech Runway の人たちにもしてもらって、ありがとうございました。

(質問) Tech Runway で一番印象に残ってることは？

T.K. さん  
普段は体験できないようなイベントに参加させてもらったこと。特に記憶に残っているのはセールスフォースの方々と会ったときのことかな。高校生が IT 企業のオフィスに行けるなんてなかなかないですね。就職する会社の選び方を話していて、「自分がやりたい」とか「どんな事業をやっているのか」とかそういう軸で会社を選ぶこともできるんだよって教えてもらって、年収とか安定性とかを第一に考えるものだと思ってたから驚きました。

(質問) 最後に、今後の目標を教えてください！

T.K. さん  
これからはプログラミングと英語のスキルを伸ばしていきたいと思っています。プログラミング関係では大学生の間に基本情報技術者試験を受けたり、いくつかの言語を学習してサービスを作ったりしようと考えています。英語関係では座学面では TOEIC を勉強していこうと考えていて、コミュニケーション面では留学もしてみたいと考えています。留学のためにも大学の成績を良くする努力もしていきます。

## CLACK アラムナイ、始動

「卒業後も関わりを持ちたい！」といった声から、卒業生主導で始まりました！ Tech Runway を修了後はこのコミュニティの中で、プログラミングを学びあったり、活かすための情報を共有したりしていきます。代を超えて繋がることで先輩の活躍を知るきっかけにもなり、今後の活動に期待です！

# CLACK Supporters

日頃よりご支援をいただいている皆様に厚く御礼申し上げます。本年度は15の企業・団体さま、283名の個人の皆様よりご支援いただきました。パートナー企業さまには、寄付のほか、PC・教材寄贈やキャリア教育へのご登壇等、様々な形で事業を支えていただいております。今後も皆様とともに、高校生の未来へ希望を届けていきたいと思っております。

## サポーター企業



## > Column 応援メッセージ

パートナー企業の株式会社ヨドウェアさまより、応援メッセージをいただきました。株式会社ヨドウェアさまからは法人寄付の形でご支援いただいております。



株式会社ヨドウェア  
代表取締役  
西田琢也

プログラミングを教えるということ、単なる講座として行うのではなく、困難を抱える子どもたちの未来を広げることにつなげている活動に共感し、支援を始めました。子どもたちがCLACKの活動によって、プログラミングをはじめとした新しい物事に挑戦する機会を得ることや、幅広い世界の人々を知ることが、将来に希望と自信を持つきっかけになるものと思います。本当に必要な所に活動が届くよう、学校や他団体とも連携して積極的に活動を広げておられ、CLACKの理念の実現を推し進める力にも感服しています。これからもCLACKの活動がより多くの可能性を届けられるよう、応援しています。

# 会計報告・団体情報

## 2020年度 活動計算書

2020年4月1日～2021年3月31日

科目	金額		
<b>I. 経常収益</b>			
1. 受取会費	0	0	
2. 受取寄附金	8,111,322	8,111,322	
3. 受取助成金	4,910,000	4,910,000	
4. 事業収益	219,100	219,100	
5. その他収益			
受取利息	21	21	
経常収益計			13,240,443
<b>II. 経常費用</b>			
1. 事業費			
(1) 人件費			
役員報酬・給料手当	2,710,000		
法定福利費	295,380		
人件費計	3,005,380		
(2) その他経費			
旅費交通費	271,300		
外注費	6,714,424		
採用教育費	39,160		
広告宣伝費	14,370		
通信費	106,926		
消耗品費	346,240		
支払手数料	616,399		
減価償却費	166,666		
その他経費計	8,275,485		
事業費計		11,280,865	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬・給料手当	670,000		
法定福利費	73,845		
人件費計	743,845		
(2) その他経費			
旅費交通費	235,878		
外注費	41,800		
通信費	110,202		
租税公課	2,152		
消耗品費	197,088		
地代家賃	122,738		
諸会費	21,200		
支払手数料	341,401		
保険料	20,000		
その他経費計	1,092,459		
管理費計		1,836,304	
経常費用計			13,117,169
当期経常増減額			123,274
<b>III. 経常外収益</b>			
経常外収益計			0
<b>IV. 経常外費用</b>			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			123,274
法人税、住民税及び事業税			70,000
当期正味財産増減額			53,274
前期繰越正味財産			148,760
次期繰越正味財産			202,034

## 2020年度 貸借対照表

2020年4月1日～2021年3月31日

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	5,593,150	流動負債	2,950,770
現金及び預金	5,101,627	短期借入金	80,000
前払費用	122,738	未払費用	500,722
未収入金	368,785	未払法人税等	70,000
		前受金	2,190,000
		預り金	110,048
固定資産	1,479,654	固定負債	3,920,000
工具器具備品	1,033,334	長期借入金	3,920,000
差入保証金	446,320	負債合計	6,870,770
		<b>正味財産の部</b>	
		前期繰越正味財産	148,760
		当期正味財産増減額	53,274
		正味財産合計	202,034
資産合計	7,072,804	負債及び正味財産合計	7,072,804

## 団体情報



**団体名** NPO 法人 CLACK  
**理事長** 平井 大輝  
**スタッフ** (事務局長) 中川 公貴  
 (監事) 持井 大樹  
 (事務局) 古池 香里  
**所在地** 大阪市淀川区西中島 3-8-15  
 EPO SHINOSAKA BUILDING 1001  
 (旧 新大阪松島ビル)  
**Email** info@clack.ne.jp  
**公式サイト** https://clack.ne.jp

## 代表挨拶



NPO 法人 CLACK  
代表 平井 大輝

CLACK も設立から 3 年 (法人設立から 2 年) を無事迎えることができました。私が大学生の時に立ち上げ、『経済的に困難を抱える高校生に対しての新しい支援の形を全国に広げていきたい!』と言い続け、最初は全員手弁当で行ってきた支援も、2021 年現在、10 名の有給スタッフと 50 名のボランティアスタッフの総勢約 60 名のメンバーで高校生に伴走していけるようになりました。皆さん本当にありがとうございます。2020 年度は代表である私が社会人として専業に関わり始め、フルタイムで中川が加入しました。コロナ禍での支援も試行錯誤しながら、CLACK にできることを多くの方に協力していただいたおかげでなんとか取り組んでこれました。大阪以外の拠点に展開していく体制も少しずつ整い、質の高い支援をより多くの困難を抱えている高校生に届けていけるようにこれからも努めていきます。

### マンスリーサポーターに参加しませんか？

CLACK では毎月決まった金額をご寄付いただくマンスリーサポーターを募集しています。月額 1,000 円からの毎月の定額寄付によって、安定して多くの高校生にプログラミングを届けることが可能になります。クレジットカードと口座振込に対応しております。ご自身に合った金額・方法のご支援をお選びいただけます。

#### 支援コース

1,000 円/月

3,000 円/月

5,000 円/月

10,000 円/月

30,000 円/月

50,000 円/月

#### CLACK

寄付



#### ご支援の例

月 1,000 円で…

キャリア教育 1 回分の  
会場費 + 講師交通費の提供

月 3,000 円で…

生徒 1 人分の PC と  
周辺機器 1 セットの提供

月 5,000 円で…

プログラムに参加するた  
めの交通費の提供

申し込み方法

下記 URL から支援コースを選択

<https://clack.ne.jp/donation>



